

---

---

## みどりヶ丘病院における難治性過活動膀胱に対するボツリヌス療法の経験

馬場 雅人、濱口 卓也、福井 勝也  
(みどりヶ丘病院 泌尿器科)

---

### 【目的】

当院におけるボツリヌス療法の治療経験について報告する。

### 【方法】

2020年6月から2021年12月までに、前治療として12週以上の抗コリン剤あるいは $\beta$ 3刺激薬使用歴のある薬剤抵抗性過活動膀胱に対してボツリヌス療法(経尿道的A型ボツリヌス毒素膀胱壁内注入療法)を行った11例(12回)について後方視的に検討した。治療評価は過活動膀胱症状質問票(OABSS)を用いた。

### 【結果】

患者背景は、年齢平均が75.1歳(51-90)、性別は男性5例、女性6例であった。前治療期間は平均50週(12.3-113)、前治療薬はミラベクロン11例、ソリフェナシン5例、フェソテロジン2例であった。治療効果は治療前OABSS合計点平均10.3点が治療後OABSS合計点平均2.5点と有意に改善した( $P < 0.01$ )。有害事象は膀胱痛が1例みられたのみであった。

### 【結論】

ボツリヌス療法は高齢者に対しても有害事象も少なく、治療効果を得ることができた。